

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 3 月 1 日作成)

小委員会名	建築アーカイブズ小委員会		主 査 名：鈴木博之 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠本委員会		委員長名：吉田 鋼市 主 査 名：
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	[設置目的] アーカイブズ・ネットワークの確立と、収集・整理・公開のための共通の方法論の検討 [2006 年度活動計画] 1.建設産業に係わる国内資料の保存に関する現況調査(特に設計事務所を中心に)		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	鈴木博之(東京大学、主査) 山名善之(東京理科大学、幹事) 倉方俊輔(幹事) 内田青蔵(埼玉大学) 志岐祐一(日東設計事務所) 藤岡洋保(東京工業大学) 松隈洋(京都工芸繊維大学) 山崎綱介(東京工業大学) 吉田鋼市(横浜国立大学) 中原まり(オクタゴン・ミュージアム)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建設産業に係わる国内資料の保存に関する現況調査に関して、特に戦後の建築家を対象に建築資料の概要・保管状況を網羅的に捕捉し、リストを作成した。実情のより詳細な調査とともに、公開委員会資料として刊行、配付した。
委員会活動の問題点・課題	1. 国内資料の保存に関する現況調査については、従来に無い網羅的な把握を行うことができたが、今後状況の改善に向けた状況の整理と情報の交換を促進する必要がある。 2. 建築資料の保管場所について、さらに可能性を探ることが課題となる。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。